



田川の祭りプロジェクト
Tagawa Matsuri Project



田川の祭り

神幸祭の郷、
田川



田川市
香春町
添田町
糸田町

川崎町
大任町
赤村
福智町



一般社団法人
田川広域観光協会
www.tagawa-net.jp



鏡山大神社 神幸祭



宝珠



鳳凰



彦山川でおこなわれる川渡り神幸祭

神幸祭の郷、田川

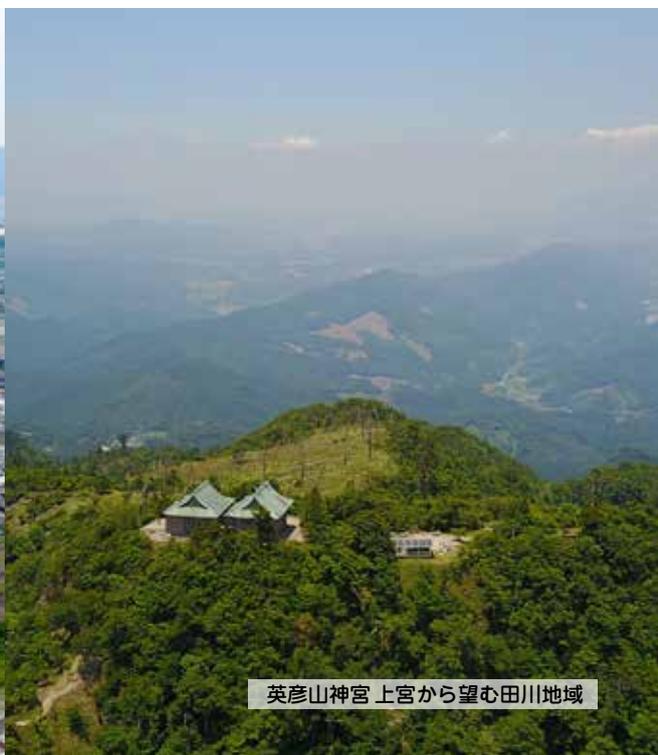
「神幸祭」という祭りをご存じでしょうか？
田川地域では、四月から五月にかけて三十を超える神幸祭が行われます。祇園祭も同時期に行われ、五穀豊穡と悪疫退散の祈りが捧げられます。

神幸祭とは、神の御幸が行われる神社の祭礼をいいます。神輿には神霊の宿る御神体がのり、氏子の住む地域を巡った後に御旅所に泊まり、その後、神社に戻ります。神社や御旅所では獅子舞や稚児舞、神楽などが奉納されることもあります。御旅所への神輿渡御を「お下り」といい、神社への還幸を「お上り」といいます。神幸行列では、神職や威儀物（御幣や幟など）を携えた氏子達が従い、神輿の屋根には鳳凰や宝珠が飾られます。祇園信仰と融合して、山笠（山車）や獅子などを伴う地域もあります。

田川地域は添田町・香春町・福智町・大任町・川崎町・赤村・糸田町の田川郡と田川市で構成されます。神幸祭は英彦山神宮の神幸祭に始まり、今川・彦山川・金辺川・中元寺川の流れに沿って各地で行われていきます。そして最後は、田川伊田駅前の風治八幡宮と白鳥神社（白鳥町）による川渡り神幸祭、そして翌週の田川後藤寺駅近くの春日神社における神幸祭で締めくくられます。神幸祭が終わると本格的な田植えのシーズンを迎え、田川に初夏が到来します。



香春岳と田川伊田駅周辺



英彦山神宮 上宮から望む田川地域

山笠がガブる郷、田川

田川地域の特徴として、八幡神社が多いことが挙げられます。これは田川が旧豊前国であり、八幡宮の総本社である宇佐神宮が豊前国の一宮であったことにも由来します。筑前には天満宮が多く、宇佐神宮と安楽寺(太宰府天満宮)が九州を二分する荘園領主となりました。筑豊地方の中心地である飯塚・直方・田川の中でも、田川だけが旧豊前国に属しています。

祇園精舎の守護神とされた牛頭天王は素戔嗚尊(須佐之男命)と習合し、祇園信仰となつて山笠が祭りです。神幸祭に伴う場合もあれば、祇園山笠として須佐神社で奉納される場合もあります。田川地域の山笠(山車)の特徴は、稲穂を模した馬簾と呼ばれる五色の飾りです。古代日本の主食である米・麦・粟・豆・稗の五穀を意味し、青・赤・白・黒(紫)・黄の色で表されます。山笠(山車)を上下に激しく揺らす「がぶり」という動作も一つの特徴です。

山笠には車輪が付いて人が引く「曳き山」や、人が担ぐ「昇き山」があります。博多祇園山笠に代表される筑前系の人形山に対し、豊前系は今井祇園(行橋市)や生立八幡神社(みやこ町犀川)に見られる幟山が主流です。北部九州の祇園信仰は、京都の八坂神社から今井津(行橋市)の祇園社(今井祇園)を経由して広がり、祓川や今川の水運を通じて田川に伝播したと考えられます。

今井祇園では、男子の稚児を神として山車に乗せる「八ツ撥行事」が行われていましたが、現在では残念ながら執り行われていません。稚児による行事は京都の祇園祭が有名ですが、赤村の神幸祭では「気遣取り」と呼ばれる稚児による行事が今でも続けられています。これは、古い文化が今でも田川に息づいている貴重な事例です。



人形山(博多祇園山笠)



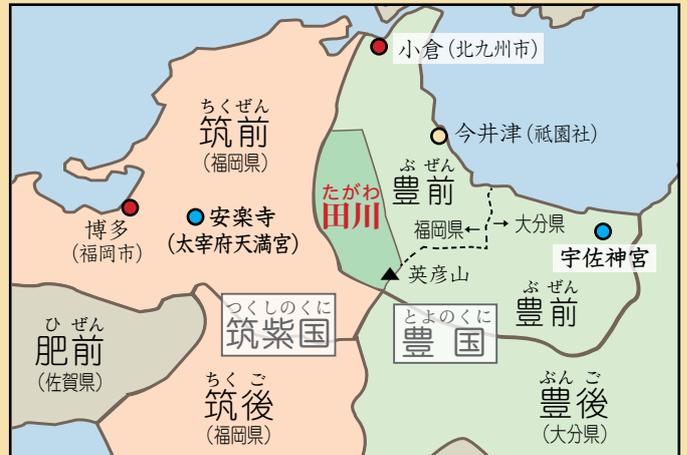
曳き山(春日神社 神幸祭)



幟山(今井祇園)



昇き山(糸田祇園山笠)



気遣取り(我鹿八幡神社 神幸祭)



八ツ撥行事(今井祇園)



五色の馬簾(春春神社 神幸祭)



宇佐神宮の神輿



京都祇園祭の山鉾行事

※ 山笠(山車)と書いて、「ヤマ」「ヤマガサ」「ヤマカサ」「ダシ」など様々な読み方がなされる場合があります。

※ 「曳き山」「昇き山」は、「曳山」「昇山」として表記される場合があります。

獅子舞と神楽の郷、田川

「獅子が舞わねば神輿が動かぬ」といわれるほど田川は獅子舞が盛んな場所であり、伎楽系と祓い系のものがあります。大分八幡宮（大分系）の獅子舞も、田川地域と旧嘉穂郡に影響を与えています。英彦山の獅子舞も優雅で「三度がえり」が圧巻です。祓い系の典型で古式の様相をもつ五段六調子の位登の獅子舞も見物です。

神楽とは神と人とを結ぶ祈りの舞であり、宮中に伝わる御神楽とそれ以外の里神楽に分けられます。田川市春日神社の岩戸神楽は、豊前系の里神楽に、筑前系の神職神楽が混入した特異的な伝承形態を持つ神楽として注目されており、豊前神楽の一つとして国指定重要無形民俗文化財に指定されています。添田町の津野神楽も平成二十九年五月に国指定重要無形民俗文化財に加わり、神幸祭で夜神楽が奉納されています。大内田神楽も赤村を代表する伝統芸能であり、迫力のある舞いが繰り広げられます。



岩戸神楽（春日神社）



獅子舞（白鬚神社）



大内田神楽（赤村）



津野神楽（添田町）

掲載のスケジュールは2017年5月の情報に基づきます。変わることがございますので、別途お問合せ下さい。

5月

4月

下旬	中旬	中旬	中旬	中旬	GW	GW	GW	GW	GW	GW	GW	GW	GW	GW	GW	下旬	下旬	上旬	
田川	田川	糸田	添田	田川	福智	福智	赤村	赤村	川崎	添田	大任	川崎	添田	香春	香春	田川	赤村	香春	添田
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
春日神社神幸祭	川渡り神幸祭	糸田祇園山笠	野田神幸祭	須佐神社神幸祭	白鬚神社神幸祭	赤坂神社神幸祭	我鹿八幡神社神幸祭	光明八幡神社神幸祭	安宅神幸祭	下津野神幸祭	貴船神社神幸祭	正八幡神社神幸祭	上津野神幸祭	香春神社神幸祭	鏡山大神社神幸祭	白鳥神社神幸祭	大祖神社神幸祭	古宮八幡神社神幸祭	英彦山神宮神幸祭
神輿・山車・岩戸神楽	神輿・山車・稚児舞・獅子舞	神輿・山笠	神輿・稚児舞・獅子舞	神輿・山車・獅子舞	神輿・山笠	神輿・山笠	神輿・山車・気遣取り	神輿・山車・気遣取り	神輿・山車・獅子舞	神輿・津野神楽	神輿（川渡りがある）	神輿・獅子舞・杖楽	神輿・津野神楽	神輿・山車	神輿	神輿・山車・獅子舞	大内田神楽	杉の葉神輿	神輿・稚児舞・鉞舞・獅子舞
春日神社	風治八幡宮 白鳥神社（白鳥町）	金村神社	加茂神社	須佐神社	白鬚神社	赤坂神社	我鹿八幡神社	光明八幡神社	須佐神社	高木神社	貴船神社	正八幡神社	高木神社	香春神社	鏡山大神社	白鳥神社（猪国）	大祖神社	古宮八幡神社	英彦山神宮

神幸祭・祇園祭のスケジュール（一部）

田川の祭りマップ



泌泉(たぎり) (糸田町)



赤坂神社 神幸祭 (福智町)



風治八幡宮 (田川市)



香春岳 (香春町)



貴船神社 神幸祭 (大任町)



光明八幡神社 (赤村)



正八幡神社 (川崎町)



岩石城跡 (添田町・赤村)



彦山川 (添田町)



英彦山と夕日 (添田町)





英彦山神宮 神幸祭 稚児舞

英彦山神宮 神幸祭

場所／英彦山神宮 奉幣殿

津野神楽

場所／高木神社（上津野）お旅所

場所／高木神社（下津野）

野田獅子楽

場所／加茂神社・貴船神社（野田）

高住神社 神幸祭

場所／英彦山

添田町の神幸祭は、英彦山神宮神幸祭に始まり、上津野（高木神社）、上落合（太祖神社）、下落合（高木神社）、下津野（高木神社）の神幸祭と続き、野田（加茂神社）、下中元寺（瀬成神社）、添田の神幸祭と行われます。九月には高住神社の神幸祭もあります。

英彦山は、太陽神・天照大御神の子、天忍穗耳命が主神であることから「日の子の山」が日子山に転じたとされます。平安時代に彦山となり、江戸時代には英彦山と改められました。ここは日本三大修験道の一つであり、我が国を代表する山岳信仰の重要霊山となっています。

英彦山神宮神幸祭は、他の地域の神幸祭と異なり、修験道の影響が見られます。二日間にわたって三基の神輿が往復し、稚児舞・鉞舞・獅子舞も奉納されます。神幸祭の前には、「お汐井（御潮井）採り」



深倉峽



英彦山神宮 神幸祭



高木神社 神幸祭 津野神楽

と呼ばれる神事が行われます。他の地区では深倉峡(添田町)や近くの聖地で行われますが、英彦山神宮では行橋市杵尾海岸の姥が懐で行われます。潮水を竹筒に汲み、持ち帰って神域が清められます。

津野地区の津野神楽は豊前神楽の流れをくみ、平成二十九年四月に「豊前神楽」の一つとして国指定重要無形民俗文化財となりました。みやこ町犀川から伝わったといわれ、その源流は宇都宮氏が関東より勧請した岩戸見神社(築上郡築上町)の伝法寺岩戸神楽とされています。

落合地区と野田地区は獅子楽が有名で、野田神幸祭の野田獅子楽は、江戸時代に日向の国から伝来したといわれています。悪病が流行した時に獅子楽を奉納し、神の助けを乞いました。現在では加茂神社と野田の貴船神社で奉納されています。

下中元寺神幸祭の瀬成神社では奉納相撲が行われ、添田神幸祭ではJR添田駅前に子供山笠が集結します。

【スケジュールに関するお問合せ】
添田町役場 まちづくり課 観光係
電話 0947-8211236

マップQRコード

- ・英彦山神宮
- ・高木神社 上津野
- ・高木神社 下津野
- ・加茂神社



瀬成神社 神幸祭 奉納相撲



加茂神社 神幸祭 稚児舞



加茂神社 神幸祭 野田獅子楽



古宮八幡神社 神幸祭



古宮八幡神社 神幸祭



鏡山大神社 神幸祭



香春神社 神幸祭

鶴岡八幡神社 神幸祭

場所／香春町中津原

古宮八幡神社 神幸祭

県指定無形民俗文化財
場所／香春町採銅所

鏡山大神社 神幸祭

場所／香春町鏡山

香春神社 神幸祭

場所／香春町香春

香春町の神幸祭は、鶴岡八幡神社神幸祭から始まり、宇佐八幡宮に御神鏡を奉納した古宮八幡神社の神幸祭、万葉集にも詠まれた鏡山にある鏡山大神社の神幸祭、最澄が航海安全を祈願した香春神社の神幸祭と続いていきます。鶴岡八幡神社の秋季例大祭は、流鏝馬が奉納されます。古宮八幡神社では全国でも珍しく杉の葉で屋根が葺かれ、神幸祭は福岡県の無形民俗文化財に指定されています。神輿の御幸では、古宮音頭が口説かれます。鏡山大神社の神幸祭では、鉦の音と共に神輿が鏡山周辺を雅に巡ります。

香春神社は、古来より宇佐神宮と共に豊前国を代表する神社であり、香春町史によると御祭神は辛国息長大姫大日命（大自命）、忍骨命、豊比売命の三柱です。かつて神幸祭は旧暦の3月15日、16日の日程で行われ、三基の神輿と神に奉仕する大勢の神幸行列が練り歩いていと伝えられます。『豊前国風土記』逸文によれば、新羅国の神が自ら海を渡ってこの河原に住み着き、鹿春の神と名付けられたといわれています。

【スケジュールに関するお問合せ】

香春町役場 産業振興課 商工観光係
TEL 0947-32-8406

マップQRコード

- ・ 鶴岡八幡神社
- ・ 古宮八幡神社
- ・ 鏡山大神社
- ・ 香春神社



福智町

マップQRコード
・赤坂神社
・白鬚神社
・岩屋神社

【スケジュールに関するお問合せ】
福智町 まちづくり総合政策課 政策推進係
TEL 0947・2217766



春

赤坂神社 神幸祭

場所／福智町伊方

白鬚神社 神幸祭

場所／福智町伊方

岩屋神社 祇園祭

場所／福智町弁城

福智町の神幸祭は、春と秋に行われます。これは福智町が方城町・金田町・赤池町が合併してできた町であり、地域によって、秋に神幸祭が執り行われる筑前の影響を受けた為と考えられます。

赤坂神社や白鬚神社の神幸祭では、合戦絵巻を表した華麗な山笠が囃子の音色とともに練り歩きます。夜には山笠がライトアップされ、鮮やかに街を彩ります。岩屋神社祇園祭の馬簾は白に統一され、見るものに清々しさを感じさせます。

十月中旬に行われる、金田稲荷神社や飯土井神社の神幸祭では、魔除けの獅子舞が華を添え、曲楽と舞楽が奉納されます。秋空が夕闇に包まれると電飾に光が灯り、夜の山笠競演会を華麗に彩ります。昼間の煌きらびやかな姿がよりいっそう際立った山笠が集結する場面は必見です。

秋

金田稲荷神社 神幸祭

場所／福智町金田

飯土井神社 神幸祭

場所／福智町神埼



春：白鬚神社 神幸祭



春：岩屋神社 祇園祭



春：赤坂神社 神幸祭



秋：金田・神崎山笠競演会



秋：金田稲荷神社 神幸祭



秋：飯土井神社 神幸祭



貴船神社 神幸祭



貴船神社 神幸祭



大任町の公民館内

貴船神社 神幸祭

場所／貴船神社（大任町大行事）

大任町の神幸祭は、町内各所で数多く行われています。大任町は、大行事村と今任原村が合併して大任村となり、その後、町になりました。神幸祭の時期には、御旅所となる公民館でも神輿が祀られ、五穀豊穡の祈りが捧げられています。中でも大行事^{あきなが}秋永地区の貴船神社神幸祭では、古くから「川渡り」が行われています。地元の声援を受け、かけ声と共に一歩一歩川底を踏みしめながら、神輿が川を渡っていく様は一見の価値があります。

大任町では、しじみの浄化作用に着目し、十月の最終日曜日には「しじみ祭り」が行われ、彦山川の恒例行事として定着しています。

【スケジュールに関するお問合せ】

大任町役場 産業経済課

TEL TEL 0947-63-3001

マップQRコード

・貴船神社 神幸祭 川渡り 渡河地点



淡島神社神幸祭

場所／川崎町安真木

正八幡神社神幸祭

場所／川崎町大字田原

天降神社神幸祭

場所／川崎町川崎

安宅神幸祭

場所／須佐神社(安宅)

大石神社神幸祭

場所／川崎町池尻

川崎町の神幸祭は、安真木の淡島神社神幸祭に始まり、田原の正八幡神社神幸祭、天降神社神幸祭、安宅神幸祭、池尻の大石神社神幸祭と行われます。淡島神社は安産や婦人病の神様が祀られる神社で、神幸祭では餅まきなども行われます。正八幡神社の神幸祭では、源為朝が源氏の繁栄を祈願して奉納したとされる杖楽が有名です。杖・刀・鎌を使った杖楽は、武術的な楽であり、かけ声と共に演者の熱気が伝わります。天降神社神幸祭では山笠が中心部を巡り、五段・六調子の太田の獅子舞や曲獅子と呼ばれる永井・東川崎の獅子舞が神輿を先導します。安宅神幸祭の獅子舞も曲獅子であり、別名「暴れ獅子」とも呼ばれる勇壮なものです。奉納後には安宅神幸祭の巨大な昇き山が御旅所に向かいます。馬簾が大きく揺れ、山が動く様は圧巻です。大石神社神幸祭では五段・六調子の獅子舞が各所で奉納されます。

【スケジュールに関するお問合せ】

川崎町役場 商工観光課 商工観光係

電話 0947・72・3000

マップQRコード

- ・淡島神社
- ・正八幡神社
- ・須佐神社(安宅)



安宅神幸祭 須佐神社



淡島神社 神幸祭



安宅神幸祭 須佐神社



正八幡神社 神幸祭 杖楽



光明八幡神社 神幸祭

赤村の神幸祭は、大内田神楽が奉納される大祖神社に始まり、光明八幡神社と我鹿八幡神社の神幸祭が同日に行われます。秋には、秋葉神社神幸祭も開催されます。

大内田神楽は江戸時代に牛馬の疫病が流行し、「地域に家が三軒になるまでやめない」という病魔退散を願った万年願まんねんがんとして行なわれるようになりました。

高さ二十メートルの山車は必見で、かつて大山祭と呼ばれた名称に相応しい容貌です。山車には見事な彫刻が施され、色鮮やかな幟旗のぼりばたや馬簾ばれんが豊穡の祈りを捧げます。壮麗な姿は田園地帯を彩る初夏の風物詩となっています。

大内田神楽

場所／大祖神社

大内田研修センター

光明八幡神社神幸祭 我鹿八幡神社神幸祭

場所／田川郡赤村赤



我鹿八幡神社 神幸祭



大内田岩戸神楽

【スケジュールに関するお問合せ】

赤村役場 政策推進室
TEL 0947-62-3000

マップQRコード

・大祖神社
・光明八幡神社 ・我鹿八幡神社





糸田祇園山笠



糸田祇園山笠



糸田フェスティバルパーク

糸田祇園山笠

場所／金村神社（須佐神社）・糸田フェスティバルパーク

糸田町では、江戸時代に今井祇園から勧請された祇園山笠が行われています。須佐神社は金村神社に合祀され、昇山と曳山が町内を彩ります。昔は神輿の御旅所となっていた須佐神社前に山笠が並んでいましたが、今では、糸田フェスティバルパークに夕方集合します。

飾り山笠は筑前の影響ですが、太鼓が主体の筑前に比べ鉦を叩く豊前の特徴が見られます。巨大な山が動く様は圧巻で、勇壮かつ華麗な祭りに沿道から歓声が上がります。宵と共にライトアップされ、幻想的な風景は必見です。

金村神社は「田植祭」で有名な神社です。七世紀、大伴金村が水に困っていた人々に、泌泉と呼ばれる清水を掘って与えたと伝えられています。

【スケジュールに関するお問合せ】

糸田町役場 地域振興課
商工観光係 TEL 0947-26-4025

マップQRコード

・金村神社
・糸田フェスティバルパーク



若八幡神社神幸祭

場所／田川市夏吉

位登八幡神社神幸祭

場所／田川市位登

白鳥神社神幸祭

場所／田川市猪国

須佐神社神幸祭

場所／田川市弓削田

川渡り神幸祭

場所／風治八幡宮（田川市魚町）
白鳥神社（田川市白鳥町）

春日神社神幸祭 岩戸神楽

場所／田川市宮尾町（田川後藤寺駅近く）

田川市の神幸祭は、若八幡神社神幸祭に始まり、位登八幡神社神幸祭、猪国の白鳥神社神幸祭、弓削田の須佐神社神幸祭と続き、風治八幡宮と白鳥町の白鳥神社による川渡り神幸祭、春日神社神幸祭と行われていきます。

若八幡神社神幸祭は田川市の夏吉で行われ、祭神は日本書紀にも登場する神夏磯媛です。幟山が神輿に続き、奉納太鼓が祭りに華を添えます。

白鳥神社（猪国）神幸祭では獅子舞が奉納され、動きの激しい曲獅子と穏やかに舞う馬場入りが夏の夜を彩ります。提灯山笠も練り歩き、夜の街道をほのかに照らします。



白鳥神社（猪国）神幸祭



若八幡神社神幸祭



須佐神社神幸祭



川渡り神幸祭（風治八幡宮・白鳥神社（白鳥町））

須佐神社神幸祭では、獅子舞が前半は六調子、後半は五段となり、優雅な舞いが奉納されます。華やかな山笠(山車)が神輿に従い、御旅所へと続きます。

川渡り神幸祭は、県無形民俗文化財第一号に指定された田川を代表する勇壮な祭りです。風治八幡宮と白鳥神社(白鳥町)の神輿に従って、十一基もの幟山(のぼり)が彦山川に入り、水しぶきを上げて五穀豊穰・天下泰平を祈ります。幟山を前後に大きく傾ける豪快な「がぶり」の動きは、荒ぶる神の素戔鳴尊を表したものとされています。

「踊り山笠」と呼ばれる山車では、子供達による踊りが奉納されます。これは豊前の中津祇園から伝わったと言われています。

春日神社の神幸祭では、「豊前神楽」の一つとして国重要無形民俗文化財に指定された岩戸神楽が奉納されます。神社には藤原氏の莊園守護神である弓削大神が祀られており、神輿を猿田彦が先導します。行列には鬼も登場し、田川地域の神幸祭を締めくくりに相応しい、伝統のある祭りとなっています。

「スケジュールに関するお問合せ」

田川市役所 たがわ魅力向上課

たがわ魅力向上係

電話 0947・44・2000

マップQRコード

・白鳥神社 ・風治八幡宮

・須佐神社 ・春日神社



春日神社 巫女舞



春日神社 岩戸神楽



春日神社 神幸祭



川渡り神幸祭(風治八幡宮) 橘地区 踊り山笠



川渡り神幸祭(風治八幡宮) 獅子舞と稚児舞

田川地区の道の駅・物産館

糸田町 道の駅いとだ



住所 糸田町162-4
 問合せ 0947-26-2115
 営業時間 9:00~18:00
 休日 1/1~1/2
 駐車場 約110台

大任町 道の駅おおう桜街道



住所 大任町今任原1339
 問合せ 0947-63-4430
 営業時間 9:00~18:00
 直売所 9:00~18:30
 食事は10:00~19:00
 駐車場 約500台

川崎町 農産物直売所「De・愛」



住所 川崎町大字安真木5308-1
 問合せ 0947-72-8249
 営業時間 8:00~17:00
 休日 盆・年末年始
 駐車場 約50台

香春町 道の駅香春



住所 香春町大字鏡山1870-1
 問合せ 0947-32-8727
 営業時間 9:00~18:00
 第3水曜日 1/1~1/3
 駐車場 約88台

福智町 ふくちの郷



住所 福智町弁城1320
 問合せ 0947-22-7474
 営業時間 9:00~18:00 冬季17:00
 第3水曜日 (祝日の場合翌日)
 駐車場 約25台

田川市 来てみんな かながわ



住所 田川市夏吉1770-3
 問合せ 0947-46-1273
 営業時間 9:00~18:00
 休日 1/1~1/4
 駐車場 約30台

添田町 道の駅歓遊舎ひこさん



住所 添田町大字野田1113-1
 問合せ 0947-47-7039
 営業時間 9:00~18:00
 休日 12/31~1/1
 駐車場 約135台

赤村 特産物センター



住所 赤村赤5951-1
 問合せ 0947-62-2990
 営業時間 8:30~17:00
 年末年始5日間
 駐車場 約100台

福智町 上野の里 ふれあい市



住所 福智町野2811-1
 問合せ 0947-28-2017
 営業時間 8:30~17:00
 休日 8/14~8/16、12/31~1/6
 駐車場 約100台

いかがでしたでしょうか？今回ご紹介させて頂いた「田川の祭り」は、ほんの一部に過ぎません。田川には、魅力ある祭りが沢山あるのです。田川では、多くの伝統芸能が先人から引き継がれ、子供達に「祭り文化」を継承しています。田川に来て、田川を見て、田川に触れて、ぜひ田川を「彩^{さい}発見！」して頂けたら幸いです。

近代には炭鉱で栄え、炭坑節の発祥地となった田川の郷。この地には「青春の門」で有名となった香春岳や九州の霊峰英彦山、深倉峽の清流など自然で満ちあふれています。近隣の「道の駅・物産館」では、新鮮な食材や工芸品などショッピングを楽しんだり、食事を堪能することができます。また、大地の恵みである「温泉」も楽しめます。

田川市石炭・歴史博物館には、ユネスコの世界記憶遺産(世界の記憶)となった山本作兵衛翁の炭坑記録画が展示され、石炭産業の歴史から田川の歴史と民俗まで学べます。田川市美術館では郷土の美術を広く紹介し、年に数回大きな企画展を行っています。

景行天皇・日本武尊伝承や仲哀天皇・神功皇后伝説があり、最澄も関わった上伊田廃寺(天台寺跡)や平清盛が築かせたとされる岩石城、足利尊氏に縁のある興国寺も見所です。測量で活躍した伊能忠敬の足跡もあり、田川は『自然と歴史と文化の香るまち』なのです。

田川地区の温泉

福智町 ふるさと交流館日王の湯

住所 福智町神崎1056-30
 問合せ 0947-48-3333
 営業時間 10:00~22:00
 休日 12/31
 駐車場 約140台

料金
 中学生以上600円・小学生350円
 幼児(3歳以上)250円
 家族風呂(1時間・入館料別)1,600円
 (障がい者1,100円*障害者手帳提示)

福智町 ほうじょう温泉ふじの湯

住所 福智町弁城上の原1300-1
 問合せ 0947-22-6667
 営業時間 10:00~22:00
 休日 第3水曜日(祝日の場合はその翌日)
 駐車場 約260台

料金
 中学生以上600円・小学生350円
 幼児(3歳以上)250円
 団体(10名以上)550円
 家族風呂(1時間・入館料別)1,600円

田川市 天然温泉松原温泉

住所 田川市伊田5030-1
 問合せ 0947-42-1168
 営業時間 10:30~23:00
 休日 第3水曜日
 駐車場 約40台

料金
 大人550円
 子ども(4歳~小学生)330円
 貸切風呂(1部屋30分入浴料別)550円
 女性用岩釜浴セット800円

添田町 ひこさんホテル和(なごみ)

住所 添田町英彦山233-5
 問合せ 0947-85-0121
 営業時間 11:00~16:00
 休日 年2回(6月・12月に点検休館日あり)
 駐車場 約20台(臨時駐車場あり)

料金
 大人600円・小学生400円
 3~6歳300円

添田町 英彦山温泉しゃくなげ荘

住所 添田町英彦山1881-1
 問合せ 0947-85-0123
 営業時間 10:00~21:00
 休日 年2回(6月・12月に点検休館日あり)
 駐車場 約40台

料金
 大人600円・児童400円
 幼児(3歳以上)300円
 70歳以上および身体障がい者300円
 (証明書提示)

大任町 道の駅おおう桜街道天然温泉さくら館

住所 大任町今任原1339
 問合せ 0947-63-4126
 営業時間 10:00~22:00
 休日 不定休
 駐車場 約500台

料金
 大人600円・小学生500円
 薬石浴(大浴場・露天入浴可)
 大人1,100円・小学生1,000円
 家族風呂(1時間・入館料別)1,100円

赤村 源じいの森温泉

住所 赤村大字赤5251-3
 問合せ 0947-62-2851
 (宿泊は0947-62-2911)
 営業時間 9:30~22:00
 休日 不定休
 駐車場 約100台

料金
 中学生以上600円・子ども5歳以上400円
 家族風呂(1時間・入館料別)1,500円
 毎月26日(土日の場合、翌平日)は
 大人半額・子ども1人無料
 ゆめカード持参の方は会員価格

制作：田川の祭りプロジェクト
 発行：一般社団法人 田川広域観光協会

【2017/9/25版】

電話：0947-45-0700 FAX：0947-45-0710

所在地：〒825-0014 福岡県田川市魚町8-27

田川広域観光協会HP：www.tagawa-net.jp

田川の祭りHP：www.tagawa-no-matsuri.com

田川の祭りFB：www.facebook.com/tagawa.no.matsuri

田川エリアまでのアクセス

